

事業所名

児童デイサービス 咲心おろく店

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7年

4月

30日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|------|-----|---------|--|-------|
| 法人（事業所）理念 | | 様々な体験を通して、安心と喜びのあるより良い日常に貢献し児童・ご家族さんが素敵な笑顔で過ごせるように、最良の支援を提供する | | | | | |
| 支援方針 | | 楽しく、安心して過ごせる場所を提供するとともに、様々な経験を積むことで各々の持っている可能性を引き出し、心身ともに成長を促せるよう支援します | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分から | 17時 | 30分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ①健康状態の把握…障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮して小さなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行う ②健康の増進…睡眠・食事等生活のリズムを身に付けられるよう支援、食を営む力の育成に努める、咀嚼、嚥下、姿勢保持等への支援、病気の予防や安全への配慮 ③ポジショニング・マッサージ…身体の変形・拘縮予防に努め、ポジショニングやマッサージに取り組む ④入浴支援…希望があれば行う。入浴を行うことで、清潔の保持、心身のリラクゼーション効果や筋緊張を軽減していく | | | | | |
| | 運動・感覚 | ①保有する感覚の活用…保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援。シーツブランコ、風船、ボールプール、新聞紙等の活動を提供、普段体験することのない揺れや刺激を行い「身体意識」を育む。眼鏡や補聴器の活用 ②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用…姿勢保持装置等、補助手段を活用して姿勢保持に努め、集中して活動に参加できるように工夫して、その時の子供の表情や仕草等観察しながら、一人一人に合った支援の方法で活動を提供する | | | | | |
| | 認知・行動 | ①感覚や認知の活用…視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用して、様々な体験や遊びから色・形・重さ・柔らかさ等の感覚を養い、認知機能の発達を促す支援を行う ②外部環境からの刺激…散歩や外出にて屋内と屋外、景色の変化や風や匂いから、個々の持つ感覚で最大限に季節や環境を感じて「快」「不快」の表出を促していく ③積み重ねの活動…意思表示の困難さに配慮して子供の小さなサインを読み取り、興味や関心を持った体験的活動を積み重ねていけるように支援する | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ①（コミュニケーション士台作り）…見る・聴く・触る・揺れる等の遊びを経験して、自分の外からの刺激に慣れていけるようにする。人とのやり取り、遊びを通して人への意識を高めていく。 ②コミュニケーションツールや手段の活用…個々に合ったコミュニケーションの取り方を探り、細かな観察で声や動きを通しての発信を受け止め、発信する力を強めていく 絵本や玩具などを通して遊びや興味の幅を広げる | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ①他者との関わりの形成…職員と沢山触れ合い、声掛け、その反応から信頼関係を構築出来るように支援していく ②集団遊びの活用…お友達の輪の中で過ごすことで、お友達を意識するようになったり相手を想う気持ちを引き出す声掛けをしていく | | | | | |
| 家族支援 | | ①家族からの相談に対する適切な助言や支援、家族の負担を軽減していくための物理的、心理的支援…定期的な支援会議や計画の調整、関係者・関係機関の連携による支援体制の構築を図る ②家族間の交流…定期的な保護者会の開催 | | | 移行支援 | ①就学に向けての関係機関との情報共有を行う | |
| 地域支援・地域連携 | | ①地域でのネットワークの構築…他事業所や地域の保育園等との交流 ②関係する支援機関との連携…地域の中で安心して暮らせるように支援する | | | 職員の質の向上 | ①虐待防止・身体拘束適正化・感染症・BCP、安全計画研修・訓練 消防訓練 ②医療ケア児等支援者養成研修 ③その他研修 | |
| 主な行事等 | | ・誕生会・夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会・マルシェ・運動会（夏祭り・マルシェ・運動会は法人合同） ・月に3回アロマオイルマッサージ、月に2回アート、月に1回音楽療法 | | | | | |